

上位12事業所に奨励金

市、特区デイサービス表彰

利用者の日常生活機能改善

岡山市は、介護のデイサービス利用者に対して、日常生活機能を改善させた事業所を顕彰する「総合特区デイサービス改善インセンティブ事業」で、市内の12事業所に奨励金を支給した。2014年度にスタートした同事業で初めての支給。市は今後も実績を積み重ねて、18年度の介護報酬改定に向けて国に政策提言する。

18年度報酬改定 実績積み国へ提言

市によると、現行の介護保険制度はサービス利用者の要介護度が改善すると、介護報酬が減少する仕組みのため、質の高い介護を提

供する事業所が報酬面で不利になりかねないという。同事業は、介護サービスの質を高め、事業所が不利にならない仕組みづくりに向

けて、市が国から総合取り組んでいる。特区の認定を受けて取組んでいる。初年度の14年度は、



認知症高齢者の受け入れ人数や、介護福祉士の常勤換算人数など5項目のうち3項目で、平均値以上であるなど基準を満たした60事業所をホームページ（HP）で紹介。15年度は同様の基準で72事業所を選定した。このうち寝返りや起き上がりなどの評価項目で改善した上位12事業所を「アウトカム評価上位事業所」として奨励金各8万円を支払った。

12事業所は、さつちやん家デイサービスセンター（東区金田）▽津高寮デイサービスセンター（北区津高）▽松風会デイサービスセンター・カドタ（中区門田屋敷）▽デイサービスプチャイル益野（東区益野町）▽デイサービスケアブレッジ

要介護者の機能を改善したとして岡山市から奨励金を支給された12事業所の代表者ら

たけべ（北区建部町建部上）▽デイサービスセンターアルフィック東川原（中区東川原）▽会陽の里デイサービスセンター（東区久保）▽デイサービスあゆむ（南区豊成）▽デイサービスココファン高屋（中区高屋）▽デイサービスかりん（同湊）▽デイサービス笠井の里（北区畑鮎）▽デイホーム縁（同平田）。

3月25日、中区桑野の岡山ふれあいセンターで表彰式があり、横山忠弘副市長が12事業所の代表者らに表彰状と奨励金を贈った。また市は72事業所の主な取り組みをHPで紹介している。

市は同じ趣旨の優遇施策を進める品川区、川崎市、名古屋市の福岡県、滋賀県と協議会を設立しており、16年度も事業を継続しながら、同年度内に国に政策提言する。

（山内悠記子）